

平成21年 第2回

# 福島町議会

## 臨時会会議録

平成21年3月27日 開会

平成21年3月27日 閉会

福島町議会

会議録の作成にあたっては、誤りのないよう留意しておりますが、時間の関係上原稿校正は初校しかできなく、誤字、脱字がありますことを深くお詫び申し上げます。

まことに恐れ入りますが、ご了承のうえご判読いただきたくお願いいたします。

福島町議会議長 溝 部 幸 基

# 目 次

平成21年3月27日（金曜日）第1号

○議 事 日 程 .....	1 頁
○会議に付した事件 .....	1 頁
○出 席 議 員 .....	1 頁
○欠 席 議 員 .....	1 頁
○出 席 説 明 員 .....	1 頁
○職務のため議場に出席した議会事務局職員 .....	2 頁
○開会・開議宣告 .....	3 頁
○町 長 あ い さ つ .....	3 頁
○日程第1 会議録署名議員の指名 .....	3 頁
○日程第2 諸般の報告 .....	3 頁
○日程第3 会期の決定 .....	3 頁
○日程第4 議案第1号 平成20年度福島町一般会計補正予算（第10号）（提案説明・ 質疑・討論・投票採決） .....	4 頁
○日程第5 議案第2号 平成20年度福島町水道事業会計補正予算（第4号） （提案説明・質疑・討論・投票採決） .....	7 頁
○閉会の議決・閉会宣告 .....	8 頁

## 提出案件及び議決結果表

議案番号	件名	議決月日	議決結果
議案 1	平成20年度福島町一般会計補正予算（第8号）	2月24日	原案同意
議案 2	平成20年度福島町水道事業会計補正予算（第3号）	2月24日	原案同意

平成21年第2回

## 福島町議会臨時会

平成21年3月27日（金曜日）第1号

---

### ◎議事日程

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 諸般の報告
- 日程第3 会期の決定
- 日程第4 議案第1号 平成20年度福島町一般会計補正予算（第10号）
- 日程第5 議案第2号 平成20年度福島町介護保険特別会計補正予算（第4号）

---

### ◎会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 諸般の報告
- 日程第3 会期の決定
- 日程第4 議案第1号 平成20年度福島町一般会計補正予算（第8号）
- 日程第5 議案第2号 平成20年度福島町水道工事業会計補正予算（第3号）

---

### ◎出席議員（12名）

議長	12番	溝部 幸基	副議長	11番	金沢 秀一
	1番	佐藤 卓也		2番	川村 明雄
	3番	新山 大吉		4番	木村 隆
	5番	加藤 雅行		6番	杉村 志朗
	7番	佐藤 孝男		8番	藤山 大
	9番	平野 隆雄		10番	滝川 明子

---

### ◎欠席議員（0名）

---

### ◎出席説明員

町長	村田 駿	副町長	竹下 泰弘
総務課長兼総務グループ参事	川岸 勤	総務課企画グループ参事	土門 修一
財務課長兼財務グループ参事兼税務グループ参事	花田 春夫	出納室長	本庄屋 誠
町民課長兼住民グループ参事	(竹下 泰弘)	町民課福祉グループ参事	鳴海 清春
建設課長兼建設グループ参事兼水道グループ参事	横内 俊悦		
監査委員	花田 修一	監査委員補助職員	(石堂 一志)

◎職務のため議場に出席した議会事務局職員

議会事務局長 石 堂 一 志

議会グループ総括主査 坂 口 稔

議会グループ主事 吉 澤 裕 治

議会グループ書記 庭 奈 々 子

---

(開会 午前 10時00分)

---

## ◎開会・開議宣告

---

○議長(溝部幸基) おはようございます。  
ただいまから、平成21年第2回福島町議会臨時会を開会いたします。  
直ちに、本日の会議を開きます。  
日程に入る前に、村田町長より申し出がありますので、あいさつを行います。  
村田町長。

---

## ◎町長あいさつ

---

○町長(村田駿) おはようございます。  
平成21年第2回福島町議会臨時会の開催にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。  
議員の皆様におかれましては、何かとご多忙の中でのご出席誠にありがとうございました。本日提出いたしております議案につきましては、補正予算2件のご審議をお願いするものでございます。  
まず一般会計補正予算につきましては、地方交付税の決定及び新幹線建設事業に伴い、字館崎地区に新たな信通機器室の設置による鉄道運輸機構への町有地の売払い収入等での財源調整でございます。  
また、歳出においては、定額給付金事業の交付決定による減額財源調整による財政調整基金への積立金及び除排雪費等の減額でございます。  
次に追加議案となっております介護保険特別会計の補正予算につきましては、介護保険法に基づき都道府県が設置している財政安定化基金から財政安定化基金交付金が交付される事となった事から補正予算として提案するものでございます。  
議案の内容につきましてはこの後担当課長より詳しく説明申し上げますので、ご審議を頂き議決賜りますようよろしくお願い申し上げます、ごあいさつにかえさせていただきます。  
どうぞよろしく願いいたします。  
○議長(溝部幸基) 村田町長のあいさつが終わ

りました。

---

## ◎会議録署名議員の指名

---

○議長(溝部幸基) 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。  
1番佐藤卓也議員、2番川村明雄議員を指名いたします。

---

## ◎諸般の報告

---

○議長(溝部幸基) 日程第2 諸般の報告を行います。  
議会運営委員会の報告を行います。  
10番滝川明子議会運営委員長。  
○10番(滝川明子) 第2回臨時会の開会にあたりまして、本日開催いたしました議会運営委員会の協議結果を報告いたします。  
まず議事日程は、お手元の通りでございます。次に会期は、本日1日を予定いたしましたので議事運営にご協力をお願い申し上げます。ご報告といたします。  
○議長(溝部幸基) 議会運営委員会の報告を終わります。  
以上で諸般の報告を終わります。  
本日の議事はただ今滝川明子議会運営委員長から報告がありましたように進めてまいります。  
また、諸般の報告も既に印刷のうえ皆様のお手元に配布のとおりでございますのでご了承願います。

---

## ◎会期の決定

---

○議長(溝部幸基) 日程第3 会期の決定を議題といたします。  
お諮りいたします。  
本臨時会の会期は、議会運営委員会の報告のとおり本日1日といたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。  
(「異議なし」という声あり)

○議長（溝部幸基） ご異議なしと認め、本臨時会の会期は本日1日と決定いたしました。

---

◎ 議案第1号 平成20年度福島町  
一般会計補正予算について

---

○議長（溝部幸基） 日程第4 議案第1号 平成20年度福島町一般会計補正予算（第10号）について議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

花田財務課長

○財務課長（花田春夫） おはようございます。議案の1ページをお願いいたします。

議案第1号 平成20年度福島町一般会計補正予算（第10号）でございます。第1条におきまして歳入歳出、それぞれ4,997万3,000円を追加いたしまして、総額を歳入歳出それぞれ35億8,284万9,000円とするものでございます。第2条については、繰越明許費でございます。

今回の補正について説明申し上げます。

先程町長からもあいさつございましたように3月17日付けで特別交付税が決定されてございます。それに伴う財源調整。それと鉄道運用機構に売却する土地代金の歳入の補正。それとさらにはLGWANそれと年金特徴にかかるシステムの使用について北海道市町村振興協会から情報を頂いておりますのでそれらをあわせて歳入を補正してございます。

降雪量がまれに少なくございますのでその部分の除排雪委託料を減額するといったことでございます。

次に2ページをお願いします。第2表の繰越明許費でございます。事業名としては定額給付金給付事業で1,197万8,000円。下段の子育て応援特別手当事業32万8,000円でございます。いずれも先般補正をいただきまして年度内の支給を目指しましたが、残念ながら全てが給付に到りませんので年度繰越して支出したいという事でございます。給付金と事務費の繰越明許

費でございます。

次に12ページをお願いいたします。歳出の事項別明細でございます。2款の総務費17目電子自治体推進費でこれは財源振替でございます。これは先程申し上げましたように北海道市町村振興協会からの助成金を頂いたために一般財源からその他財源の方に繰返すといったものでございます。

次に18目の定額給付金給付事業費これで14万7,000円の減額でございますけども、3節の職員手当てから14節まで前にもお話しましたけども、事務費については10分の10が補助決定でございますので、これらの調整をするためにそれぞれ所要の節において増減をしてございます。とりわけ12節におきまして各種手数料1番大きく増減ありけども85万円の減額。これにつきましては当初口座振替手数料として450円を見込んでございましたけども、銀行のお計らいによりまして1件105円という事になっておりますので減額となるものでございます。次に同じく2目の賦課徴収費ですがこれも財源繰替でございます。これも北海道市町村振興協会から年金特徴にかかるシステムの助成金を100万頂いたという事での財源繰替でございます。

次に1目の財政調整基金費25節で積立金として8,012万円を積立いたします。今回の補正財源を調整いたしまして基金の方に積み立てするといった事でございます。なお、積み立てによりまして、20年度末残高でございますけども8億3,876万5,000円。これが翌年に繰越しての資金の残高でございます。なお、ご承知のように当初1億円を取り崩す予定でございましたけども、今回積み立て補正で合わせまして崩すことなく、逆の2億1万7,000円積立できるという形になりました。

次に3款の民生費1目の児童福祉総務費これについても増減はございませんけども9節の旅費から次ページの12ページまで、交付金10分の10事業の部分でのそれぞれの細目の調整をしたものでございます。

次に8款土木費2目の道路維持費13節で先程申し上げましたように降雪量の少ないという事で3,000万円減額してございます。除雪業務で2,000万。排雪業務で1,000万。なお、5,000万円を所要見込んでおりましたけども3,000万という事での内容でございます。

次に8ページの方をお願いします。歳入の1款町税1目の町たばこ税、現年度分課税分で本数に合わせて34万6,000円の減額でございます。たばこの消費税については年々減少傾向で、しかも3月分の減少が13%弱と落ち込んでいる事から減額をするものでございます。

次に9款の地方交付税1目の地方交付税1節特別交付税で4,525万3,000円の追加でございます。昨年度対比しまして8.3%、1,404万4,000円が前年比より多くなった事によりまして補正をお願いするものでございます。

次に15款の財産収入1目の不動産売払収入1節で町有地売払収入で256万6,000円。これは館崎地区2筆の1,026.52㎡を鉄道運輸機構の方へ売却するものでございます。

次に19款諸収入1目雑入7節で250万の追加でございます。先程申し上げましたようにL-GWANサービス提供設備更新事業助成金として150万。それと北海道共同利用型エルタックス審査システム導入事業助成金100万を頂いておりますので今回補正してございます。

以上内容の説明を終わります。ご審議の程よろしくお願い申し上げます。

○議長（溝部幸基） 提案理由の説明が終わりました。

質疑を行います。

1番佐藤卓也議員

○1番（佐藤卓也） 14ページ道路維持費についてお尋ねしたいんです。毎年雪が少ないため除雪費が少なく済んでいるのですが、その除雪費の予算を決める基準というものがあればお伺いしたいなと思います。過去の実績なのか、それとも気象庁などの科学的データを基にして予算を決めているのかその辺をお分かりになればお願い

したいのです。

○議長（溝部幸基） 横内建設課長

○建設課長（横内俊悦） 予算の方なんですけども平成20年度につきましては、当初で3,000万。12月で2,000万という事で補正お願いして合計5,000万の予算。今回3,000万減額ということで最終的には2,000万という事なんですけども、平成15年から17年まで15年の年で4,320万、16年の時に4,780万、平成17年度で6,624万という事でこの年大変な豪雪だったのですけども、その時に補正の方を3回くらいお願いしてまして先決処分と2月の補正そして3月の定例会でもまた再度追加補正をお願いしたというような事もありまして、大体平均5,000万くらいあれば大方間に合うのではないかというような事で5,000万の予算を組んでおります。ただその後、平成18年・19年・今年と大体2,000万。平成18年の時はかなり降雪量が少なかったという事で600万円以内で間に合ってます。昨年度で2,010万。今年で現在までで1,720万くらいという事で大体2,000万くらいで間に合うのかなという感じになってきております。新年度で3,000万の予算でお願いしておりますけれども今年新年度12月で例年2,000万追加補正という事をお願いしてましたけれども、現在のような推移であればそれもどうなのかなという事では検討してまいりたいと思っております。

○議長（溝部幸基） 2番川村明雄議員

○2番（川村明雄） 同じページですけれども、ただ今横内課長の答弁で大体解りましたけど先般の予算特別委員会の時に聞いた実績の数字からして今週降りましたのでちょっと不足をきたすような事がないのかなというちょっと心配になったんですけども、その辺りは今1,700万という事のようにもささらに支出あるのかなという感じもするのですけども大丈夫でしょうか。

○議長（溝部幸基） 横内建設課長

○建設課長（横内俊悦） 本日も除雪の方は千軒地区の方は出ておりまして、本日の分を大体見

込んでもこれ以降まだどうなるかというのは解りませんけれども大体1,750万の範囲内で収まると。1回町内をフルに出ても200万とか、降雪量が少ない時であれば150万くらいと。その場合は吉岡から千軒まで全ての業者を出動させたとしてそれくらいの金額ですので300万近くの前算残が補正減してありますので何とか間に合うのかなという風に思っております。

○議長（溝部幸基） 宜しいですか。その他質疑ございませんか。 5番加藤雅行議員

○5番（加藤雅行） 8ページ財産収入の売払収入で不動産売却収入。館崎地区と鉄道運輸機構ですか。課長の今の説明で館崎地区というお話を伺ったのですが、当然町民の間でもこの後一つのこういう話題の少ない町というとな怒られますけど、話題になる可能性もあるのではないのかなと。特に色々な意味でこれからいろんな人達が入って来るのではないかと言われてますので、出来ればその場所の書いた絵みたいな地図みたいなものを我々にお示しして頂ければ、我々としても幸いではないのかなとこう思うのですが、そこら辺のご配慮はどういう風にして考えているかよろしくをお願いします。

○議長（溝部幸基） 川岸総務課長

○総務課長（川岸勤） 前段説明の中で館崎地区という事だったのでこの場所につきましては館崎の高台に上がって変電所あります。その向かいの鉄道運輸機構の建物があります。その奥に平屋の建物があって現在の信通機器室があります。その隣に今新幹線がらみの関係でその機器室を新たに併設するという形の中で町有地の売払いというお願いがあったという場所でございます。それで図面につきましては、後ほどここにありますので提出したいと思います。それでちなみにこの面積は、大体1,026.52㎡で大体310坪で雑種地でございます。それを町有地はその程度何ですが民有地もあります。それは民有地と鉄道運輸機構さんの方で話してて売買契約を結ぶという形の中で町有地の部分については310坪という風な買収でございます。

○議長（溝部幸基） 竹下副町長

○副町長（竹下泰弘） 今日は教育委員会が出て来ておりませんが、実は加藤議員もご存知だと思いますけども館崎の遺跡があった周辺でございますので、この部分も含めて埋蔵文化の調査をするという事で31日頃に発掘する作業員の募集のチラシが入ると思いますけども、5月から10月頃までとりあえず予定しておりますのでそういう事も合わせてお知らせしておきたいと。

○議長（溝部幸基） 5番加藤雅行議員

○5番（加藤雅行） 聞いてない事までお知らせ頂きましてありがとうございます。という事になればその近辺だという風な意味でとらえて良いのかな。そして今後色々な業者か何か私も聞いている限りというか、風の噂というか便りというか非常に何かこの新幹線絡みで新年度から来年にかけて非常に多くなって来るという事を聞いてます。そういう意味では、非常に雇用の少ない地域でございますし、なにとぞ行政の方の人達にとっては今の発掘調査も含めて今後とも是非とも出来るだけ地元の人を雇用出来るような事のご配慮を考えて頂きたいなとこう思うのですが、

○議長（溝部幸基） 竹下副町長

○副町長（竹下泰弘） 31日に出るチラシでは今のところ普通作業員が40名それから技能作業員が若干名と、それから運転等の技能作業員若干名なんで、この文化財調査の方ではなかなか福島だけでは人が集まらないのでは無いかという事で松前・福島・知内・木古内辺りまでにチラシを出すような話は聞いております。いっきに人が集まれば良いのかなという事で、うちの方は今頂いている部分では一応履歴書を書いて文化センターの方に送って、そしてそれを受けて4月9日に福祉センターで面接するという話までは聞いてます。福島で全部応募が出来れば、それにこしたことはないと思うのですが、なかなか松前町と木古内までは出さないですが松前町と知内でも募集するという風から来ておりますので出来れば福島の人を是非とも雇用して頂きたいと思っております。

○議長（溝部幸基） 暫時休憩いたします。

（休憩 午前 10時23分）

（再開 午前 10時23分）

○議長（溝部幸基） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

竹下副町長

○副町長（竹下泰弘） 今申し上げました新幹線工事の関連になりますので、機構の方で道教育委員会とか地元の福島町教育委員会と話をしながら、北海道埋蔵文化財センターで発掘調査をやるという事でございます。

○議長（溝部幸基） その他質疑ございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（溝部幸基） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

討論を行います。

（「なし」という声あり）

討論なしと認め、討論を終わります。

採決を行います。

お諮りいたします。議案第1号決することに賛成の方は起立を願います。

起立多数であり、議案第1号は可決いたしました。

## ◎議案第2号 平成20年度福島町 介護保険特別会計補正予算について

○議長（溝部幸基） 日程第5 議案 第2号 平成20年度福島町介護保険特別会計補正予算（第4号）について議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

鳴海福祉グループ参事。

○福祉グループ参事（鳴海清春） 追加議案の1ページをお願いいたします。議案第2号平成20年度福島町介護保険特別会計補正予算（第4号）の提案内容についてご説明いたします。

第1条で保険事業勘定の歳入歳出の総額をそれ

ぞれ251万9,000円を追加し、総額を4億4,167万9,000円とするものでございます。この度の補正の内容につきましては、歳入で道支出金といたしまして財政安定化基金交付金が交付される事となった事による増額補正となっております。歳出に関しましては歳入で交付された額を基金積立金として全額積み立てをするための増額補正となっております。

それでは予算の内容についてご説明しますので8ページお願いいたします。まず歳入の事項別明細からご説明させていただきます。5款道支出金2目財政安定化基金交付金1節財政安定化基金交付金で251万9,000円の追加であります。財政安定化基金につきましては先程町長のあいさつで述べましたとおり介護保険法に基づきまして各都道府県が市町村の保険財政における財源不足などに対応するために設置しているものでございます。金額の積算内訳に関しましては、予定保険料収入額から実績保険料を見込み額を差し引いた額の2分の1を限度額に市町村の保険料の収入状況を勘案して交付されるもので、結局介護の計画年度3年間の内の最終年度に1度交付されるという事になってございます。それで渡島管内の交付対象市町村につきましては、北斗市及び松前町と当町の3団体という事になってございます。この理由といたしましては、ある程度介護保険が低いところに対して財源補てんをされるという風になってございます。

次に歳出をご説明いたしますので12ページをお願いいたします。5款基金積立金1目介護給付費準備基金積立金25節積立金251万9,000円の追加となっております。歳入における財政安定化基金交付金の全額を介護給付費準備基金へ積立するものでございます。当予算措置に伴う平成20年度末の準備基金の残高見込額については4,409万4,000円を見込んでございます。

以上介護保険特別会計補正予算の説明を終わります。宜しくご審議お願いします。

○議長（溝部幸基） 暫時休憩いたします。

---

(休憩 午前 10時27分)

(再開 午前 10時30分)

---

○議長(溝部幸基) 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

鳴海福祉グループ参事

○福祉グループ参事(鳴海清春) 大変申し訳ございません。本来ですと歳出を説明して歳入という形で説明するところではありますが、自分の思いの中で逆に説明しました事を訂正させていただきますのでよろしくお願いします。

○議長(溝部幸基) 提案理由の説明が終わりました。

質疑を行います。

10番滝川明子議員

○10番(滝川明子) 今回の交付金頂けたという事は大変宜しい事という風に受け止めます。理由が保険料が低いところが対象という事なのですけども単に積立金を多くするという事が安定化という事に実際なるのかどうか。例えばこの積立金の活用、多くは年金で暮らしている方達高齢者の方達が天引きで負担しているというこの介護保険会計ですよね。ですから当事者と言いますかその方達にどう還元するかという事ははかられて積立金が活かされるという風に考えるわけですが他自治体の例の中でしたらその介護度を5段階からさらに増やして低所得や生活困窮者のための活かし方だとか色々方法が取られているかと思う訳でそういった積立金の活用方法の内容について何か検討がございましたらお聞かせ下さい。

○議長(溝部幸基) 鳴海福祉グループ参事

○福祉グループ参事(鳴海清春) 積立金のお話でございますけどここにいたっては基本的にその給付の方に回すという話にはまずならないかと思えます。ある程度歳出予算を頂いておりますのでそれについては適切にその中で処理をしてございますのでそういった中で思わぬ交付金が来た分についてはまず準備金の方に積み立てて頂いて次年度から第4期の計画が始まります。そういった

中で福島町の場合は介護保険料3,000円という形の中で渡島管内を見ても一番低い形の中で料金設定をさしていただいております。さらにまだ全道的な情報が入っておりませんが先般渡島支庁等の担当の話では、道内でも一番低い方の料金形態になるのかなという事になってございます。確かに議員がおっしゃるとおり他段階である程度減額している所もあります。ただ今申し上げましたとおり本体自体がもう既に福島町の方は最低水準で現行の料金が設定されておりますので、我々としてはこれ以上低くという形は取らなくてもいいのかなという形で先般も第4期の計画においてまた現行の料金3,000円をお願いしたいという事で承認を頂いたところでもあります。基金の活用につきましてはある程度4,000万弱があるわけですが第4期の計画の中では約半分を積みおろして、ある程度料金を上げない形の中で給付に回していくという事で考えておりますのでご理解をお願いします。

○議長(溝部幸基) 宜しいですか。

その他質疑ございませんか。

(「なし」という声あり)

○議長(溝部幸基) 質疑なしと認め、質疑を終わります。

討論を行います。

(「なし」という声あり)

討論なしと認め、討論を終わります。

採決を行います。

お諮りいたします。議案第2号決する事に賛成の方は起立願います。

起立多数であり、議案第2号は可決いたしました。

---

### ◎閉会の議決・閉会宣告

---

○議長(溝部幸基) 以上で、本議会に付議された案件の審議は、すべて終了いたしましたので、平成21年第2回福島町議会臨時会を閉会いたしたいと思います。ご異議ございませんか。

(「なし」という声あり)

ご異議なしと認め平成21年第2回福島町議会  
臨時会を閉会いたします。  
どうもご苦労様でした。

---

(閉会 午前 10時35分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

北海道松前郡福島町議会

議 長

署 名 議 員

署 名 議 員